

JIS

標準貫入試験方法

JIS A 1219 : 2023

(JGS/JSA)

令和 5 年 3 月 13 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	久田 真	東北大学
(委員)	石田 知子	株式会社大林組
	鹿毛 忠継	国立研究開発法人建築研究所
	加藤 佳孝	公益社団法人日本コンクリート工学会 (東京理科大学)
	鎌田 敏郎	公益社団法人土木学会 (大阪大学)
	古賀 裕久	国立研究開発法人土木研究所
	鈴木 澄江	工学院大学
	中山 英明	一般社団法人セメント協会
	野口 貴文	一般社団法人日本建築学会 (東京大学)
	原田 修輔	全国生コンクリート工業組合連合会
	前田 敏也	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	宮田 喜壽	防衛大学校
	丸山 慶一郎	一般財団法人建材試験センター
	水田 真紀	国立研究開発法人理化学研究所
	柳田 直	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (株式会社日東)
	吉田 敬	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：昭和 36.12.5 改正：令和 5.3.13

官 報 掲 載 日：令和 5.3.13

原 案 作 成 者：公益社団法人地盤工学会

(〒112-0011 東京都文京区千石 4-38-2 TEL 03-3946-8677)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 久田 真)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省住宅局 住宅生産課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 試験装置及び器具	3
4.1 掘削装置	3
4.2 SPT サンプラー	3
4.3 ロッド	3
4.4 打撃装置	3
4.5 付帯装置	6
5 試験方法	7
5.1 試験装置及び器具の、点検及び確認	7
5.2 試験孔の掘削	7
5.3 試験手順	7
5.4 安全要求事項	8
6 試験結果	8
7 報告	8
7.1 一般	8
7.2 現場報告書	8
7.3 試験報告書	10
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	11
附属書 JB (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	20
解 説	27

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人地盤工学会（JGS）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 1219:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

標準貫入試験方法

Method for standard penetration test

序文

この規格は、2005年に第1版として発行された ISO 22476-3 及び 2011年に発行された Amendment 1 を基とし、我が国で使用されている試験装置及び試験方法によって得られるデータが地盤の設計体系で欠かすことのできない位置を占めているため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。ただし、追補 (amendment) については、編集し、一体とした。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書 JA に示す。また、技術上重要な改正に関する新旧対照表を附属書 JB に示す。

1 適用範囲

この規格は、SPT サンプラーを地盤内に動的貫入することによって地盤の硬軟及び締まり具合の判定、並びに土層構成を把握するための試料を採取する試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 22476-3:2005, Geotechnical investigation and testing – Field testing – Part 3: Standard penetration test + Amendment 1:2011 (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 0207 地盤工学用語

JIS G 3465 試すい用継目無鋼管

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、JIS A 0207 による。

3.1

SPT サンプラー